



Vol. 146

CONTENTS

【コラム】高等学校の教科「情報」のこれまでとこれから…稲垣 俊介

【解説】AI時代のメタバース教育を考える…矢野 浩二郎

【解説】メタバースを活用した初級語学の授業—Mozilla Hubsの活用例として—…渡邊 ゆきこ

基
般

COLUMN

高等学校の教科「情報」のこれまでとこれから

高等学校の情報教育の始まりは、昭和40年代後半(1970年代)に高等学校の専門教育において、情報処理教育が行われるようになったことに端を発しているとされている。その後、平成元年(1989年)告示の学習指導要領では、中学校・高等学校段階で、社会科、公民科、数学科、理科、家庭科(高等学校)など関連する各教科で情報に関する内容が提示された。平成11年(1999年)告示の学習指導要領では、普通教科「情報」を新設し、「情報A」「情報B」「情報C」から1科目を選択必修履修であることが示された。平成21年(2009年)告示の学習指導要領では、共通教科「情報」の科目が再編されて、「社会と情報」「情報の科学」から1科目が選択必修履修となった。そして、平成30年(2018年)告示の現行学習指導要領では共通必修履修科目「情報Ⅰ」、選択科目「情報Ⅱ」が設定され、すべての高校生(情報Ⅰを代替できる科目を履修している者を除く)は「情報Ⅰ」という共通の科目を学ぶことになった。

平成11年(1999年)告示の学習指導要領は2003年度の第1学年より年次進んで実施された。つまり具体的には2003年より共通教科「情報」が始まり、本年度(2023年)でちょうど20年ということになる。筆者の高等学校の情報科の教員としてのデビューは選択必修履修科目「情報A」と専門科目「情報デザイン」の授業であった。このときは、総合高校という、生徒がさまざまな科目を選択し学ぶことができる高校に勤務していたため、生徒もこの「情報」という教科を軽視するどころか、重要な教科として認識していたと感じられた。その後、人事異動で、3校の全日制普通科の高校に勤務した。最後の1校は現在の所属である。それらの学校で感じたことは、生徒にとって情報は「受験科目ではない技能教科」「主要5教科と副教科の『副教科』」という位置づけであったと考えられる。特に6年間勤務した、ある高校では「情報」を3年生での履修と設定していたため、生徒にとっても教員(筆者)にとってもかなり厳しい状況にあった。その「厳しい」とは何か、というのは言わずもがなである。そのときの筆者の意気込みとしては「自習をするのがもったいないと思ってしまうような興味深い実習の伴う授業をする」そのような気持ちで授業に毎回臨んでいた。その意気込みが功を奏したのか、生徒による授業アンケートでは、かなり前向きな結果をいただいていた。

令和7年度大学入学共通テストに「情報Ⅰ」の導入が決まり、情報は受験科目となったといえる。これらは、本会「情報入試委員会」による働きかけやサポートも大きく影響しているだろう。筆者も、本委員会に高校の一教員として末席に所属させてもらっていることを光栄に思う。そして、これからの情報科教員は、別のプレッシャーがかかる。ほかの大学入試科目と同じように、生徒をはじめ社会全体からの要望が大きくなるであろう。しかし、これは情報が教科として大きく進展する契機である。確かにデメリットもあるが、しかし、大きく注目されることにより、授業や問題の作成などに興味を持つ人が増え、これまで以上の人が情報教育にかかわりを持って「情報」を発展しようとしているというこの状況は大きなメリットであろう。

ただ、受験科目となる前の時代から「情報」を教えていた私たち情報教員が忘れてはいけないことがある。それは「生徒が興味を持つような授業を続けること」である。上述したように、私たち情報科教員は情報が受験科目ではないからこそ、ほかの教科とは違った「厳しさ」を体験してきたはずである。そして、それに負けないために、多くの工夫を凝らした実践をしてきた。大学受験のための教科となったこれからも、生徒にとって「試験に出るから情報を学ぶ」のではなく「興味があるから情報を学ぶ」と思うような授業を作っていきたい。

稲垣俊介(東京都立神代高等学校)(正会員) <https://inagaki-shunsuke.jp>

博士(情報科学) 2023年現在、東京都立神代高等学校情報科主任教諭、本会情報入試委員会委員、本会情報科教員・研修委員会、本会誌「情報処理」編集委員会委員、東京都高等学校情報教育研究会 情報Ⅰ入試検討委員会委員長などを務め、2023年の夏に開催した、全国高等学校情報教育研究会全国大会(東京大会)の事務局長を務めた。著書は教科書『情報Ⅰ 図解と実習』(日本文教出版)など多数。

LOGOTYPE DESIGN...Megumi Nakata